

日南市埋蔵文化財調査報告書 第10集

平成10年度

日南市内遺跡発掘調査概報

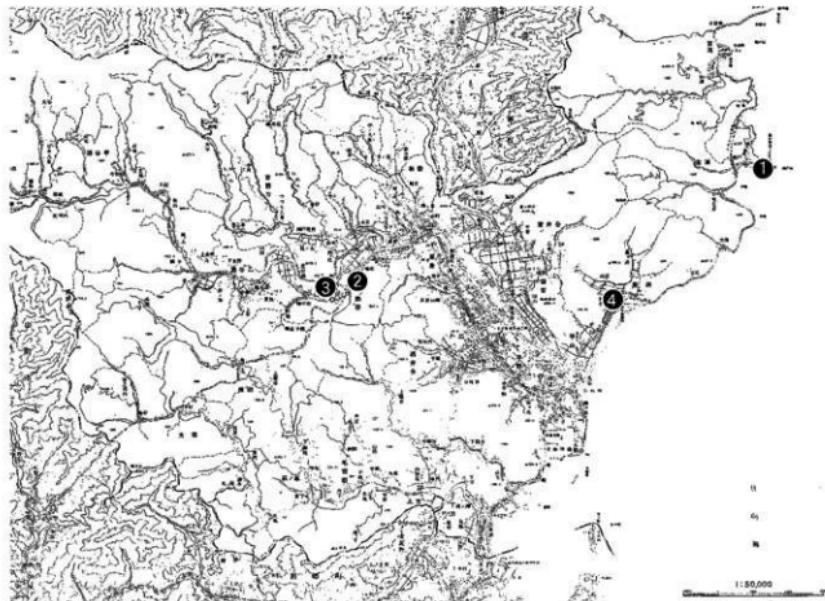
1999. 3

日南市教育委員会

平成10年度

日南市内遺跡発掘調査概報

1. 九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地
2. 坂ノ上遺跡
3. 川辺ヶ野遺跡
4. NTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地



1999.3

日南市教育委員会

坂ノ上遺跡全景



【(株)スカイ・サーベイ森氏撮影】

序

この報告書には、日南市教育委員会において平成10年度に実施した埋蔵文化財の有無を確認するための発掘調査の概要を記載しております。

日南市内においては、ここ数年間毎年平均5~6件の開発行為に伴う確認調査を行ってきました。開発の傾向としては、公共機関に関するものはもちろん、電気や道路、病院に関するものや他地域より遅れて始まった大手3社による携帯電話の無線基地局の整備に関する開発などが目立っています。

こういった状況のもと、平成10年度には、九州セルラー電話㈱の携帯電話基地局の建設をはじめ、特別養護老人ホーム建設に伴うものなど、合計4ヶ所の試掘調査を実施することができました。本市教育委員会において、埋蔵文化財保護の立場から、各種開発行為に先立ち試掘調査を実施することができたことは、非常に有意義なことだと思われます。また、今後市内で行われるであろう多くの各種開発行為に伴う未確認の埋蔵文化財についても、開発側等との充分な情報交換や協議などをすすめ、その保護に資するよう努力を重ねていきたいと思います。

最後になりましたが、調査を実施するにあたり、埋蔵文化財の保護に格別のご配慮とご理解を賜りました各開発関係者各位並びに地元の方々に厚くお礼を申し上げます。また、調査にあたりましては、ご多忙の中、ご指導・ご助言をくださいました宮崎県教育庁文化課を初め、県埋蔵文化財センターの方々にお礼を申し上げます。また、現地調査にご協力いただいた作業員の方々にも重ねてお礼を申し上げます。

平成11年3月

日南市教育長 倉山 久信

例　言

1. 本書は、平成10年度に日南市教育委員会が各種開発行為に先立ち実施した埋蔵文化財確認のための発掘調査の概要である。

2. 掲載した調査地は、日南市大字宮浦字串平3257番地の九州セラーラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地、日南市大字楠原字坂ノ上1840番地の社会福祉施設特別養護老人ホーム建設予定地、日南市大字吉野方柑子ヶ谷11566番地の九州電力（株）送電線新設工事に伴う索道基地工事予定地、日南市大字風田字野中平3324番地のNTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地の4ヶ所である。

3. 調査主体　日南市教育委員会

前教育長	野邊 行俊（平成10年9月30日にて任期満了）
教育長	倉山 久信（平成10年10月1日より現職）
社会教育課長	藤本 純雄
補佐兼文化係長	岡本 武憲
庶務担当	教育秘務課主事　平原 千鶴子
	調査担当主事　的場 丈明
	調査作業員　鎌田留次郎、鎌田和枝、黒木正男、黒木カヨ
	田畠フミ子、前田マサ子、福田スエ、大田原俊太郎、
	谷口キヨ子、他
整理作業員	谷口キヨ子、貴島芳栄、濱川有香、前田智明　他

4. 現地調査は、的場が行った。

5. 実測及びトレースは、的場、鎌田（留）、谷口が行った。

6. 本書の編集執筆は、的場が行った。

7. 本報告書における方位は磁北、レベルは、海拔高にて示した。

本文目次

1. 九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地	
位置と環境	1
調査に至る経緯	1
調査の結果	1
2. 坂ノ上遺跡	
位置と環境	5
調査に至る経緯	5
調査の結果	5
3. 川辺ヶ野遺跡	
位置と環境	12
調査に至る経緯	12
調査の結果	12
4. NTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地	
位置と環境	15
調査に至る経緯	15
調査の結果	15

挿図目次

第1図 九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地 位置図	2
第2図 九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地 トレント位置図	2
第3図 九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地 土層断面図	1
第4図 坂ノ上遺跡 位置図	5
第5図 坂ノ上遺跡 トレント位置図	6
第6図 坂ノ上遺跡 トレント 土層断面図（その1）	7
第7図 坂ノ上遺跡 トレント 土層断面図（その2）	8
第8図 川辺ヶ野遺跡 位置図	11
第9図 川辺ヶ野遺跡 トレント位置図	11
第10図 川辺ヶ野遺跡 土層断面図	12
第11図 NTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地 位置図	16
第12図 NTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地 トレント位置図	16
第13図 NTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地 土層断面図	15

図版目次

図版1 九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地査区 遠景	3
図版2 九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地 トレント 土層断面	3
図版3 九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地 作業風景	4
図版4 九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地 発掘作業員の方々	4
図版5 坂ノ上遺跡 トレント 土層断面（その1）	9
図版6 坂ノ上遺跡 トレント 土層断面（その2）	10
図版7 川辺ヶ野遺跡 調査区全景	13
図版8 川辺ヶ野遺跡 トレント 土層断面	13
図版9 川辺ヶ野遺跡 作業風景	14
図版10 川辺ヶ野遺跡 発掘作業員の方々	14
図版11 NTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地 トレントN.O. 1土層断面	17
図版12 NTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地 トレントN.O. 2土層断面	17
図版13 NTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地 作業風景	18

九州セルラー電話株式会社
携帯電話無線基地局建設予定地

【位置と環境】

九州セルラー電話株式会社の携帯電話無線基地局建設予定地は、日南市大字宮浦字串平3257地に位置する。この建設予定地は、県指定建造物鵜戸神宮本殿を有する鵜戸崎一帯の東側の高台に位置する。太平洋を一望できるこの一帯には、別当累代の墓石が安置さざるところもある。また、この鵜戸崎全体をみると国指定天然記念物のヘゴの自生地北限地帯であったり、県指定の天然記念物の千疊敷奇岩が存在したりしている。このほか、鵜戸神宮敷地内には、多数の市指定建造物もある。

【調査の経緯】

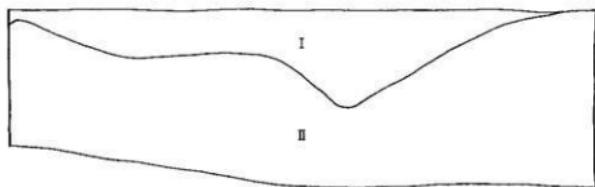
今回の調査は、九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設に伴う埋蔵文化財の有無を確認するための調査である。調査対象地は、荒廃地となっていたが、このエリアは、累代別当墓地が集中している場所でもあったので、試掘調査を実施することとした。調査では、対象地内に1.5メートル×3.0メートルのトレーンチを1ヶ所設定し、遺構・遺物の検出に努めた。

【調査の結果】

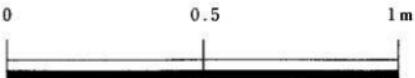
今回の調査の結果、遺構・遺物とも確認されなかった。

九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地土層断面図

L = 73.91m

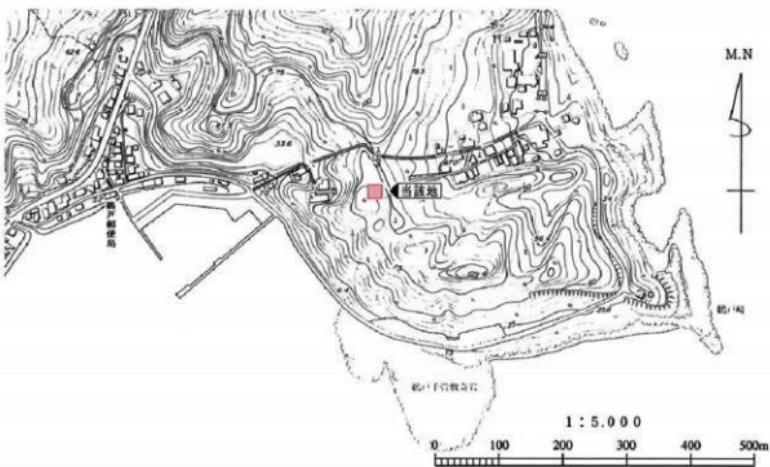


I : 10 YR 4/1 深灰色 強い粘質土
II : 10 YR 6/8 明黄褐色 強い粘質土



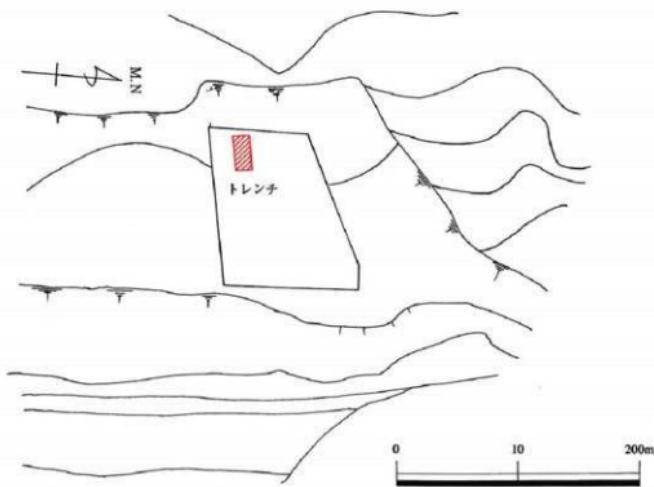
第 3 図

九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地位置図



第 1 図

九州セルラー電話株式会社携帯電話無線基地局建設予定地トレンチ位置図



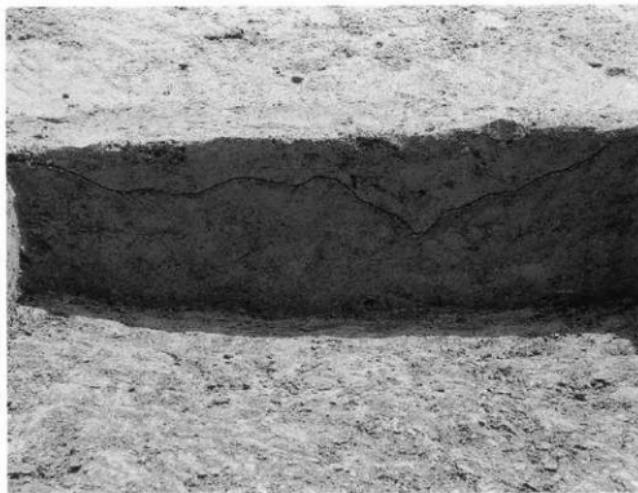
第 2 図

調査区遠景



図版 1

トレンチ 土層断面



図版 2

作業風景



図版 3

発掘作業員の方々
(鶴戸神宮駐車場にて)



図版 4

さかのうえ
坂ノ上遺跡

【位置と環境】

坂ノ上遺跡は、日南市大字楠原字坂ノ上 1840 番地に位置し、特別養護老人ホームの建設予定地となった。この建設予定地は、標高約 55 メートルの西北に広がる丘陵地で、北東側は渓谷になっており、溪流が酒谷川に注いでいる。ほぼ真北には、伊東家 5 万 1 千石の城下町を望むことができる。また、この坂ノ上遺跡は、これまで幾度か開発の計画があがってはいたが、実行には至らなかつた経緯があり、遺跡の保護については、開発の策定が行われるたびに協議されてきた。今回の特別養護老人ホーム建設に伴い遺跡の性格や規模の確認調査を実施することになった。

【調査の経緯】

今回の確認調査は、特別養護老人ホーム建設に伴う埋蔵文化財の有無を確認するための調査である。調査対象地は、現在も畠地として利用されている所や休耕地となっている所、荒廃地や山林となっているところがあった。調査では、トレンチの設定及び掘削が可能な場所で遺跡の規模や性格が把握できるように約 14 カ所を設定した。トレンチの大きさは、1.5 メートル * 3.0 メートルもので、合計 14 カ所のトレンチの内、NO. 1、NO. 2、NO. 3、NO. 4、NO. 11、NO. 12、NO. 13 の 7 カ所より、縄文後晩期の土器片や弥生式土器片、磨製石斧などを検出できた。

【調査の結果】

今回の調査の結果、遺物が検出できたトレンチが集中する調査対象地の西側に関しては、本調査の実施が必要であると考えられる。

坂ノ上遺跡位置図



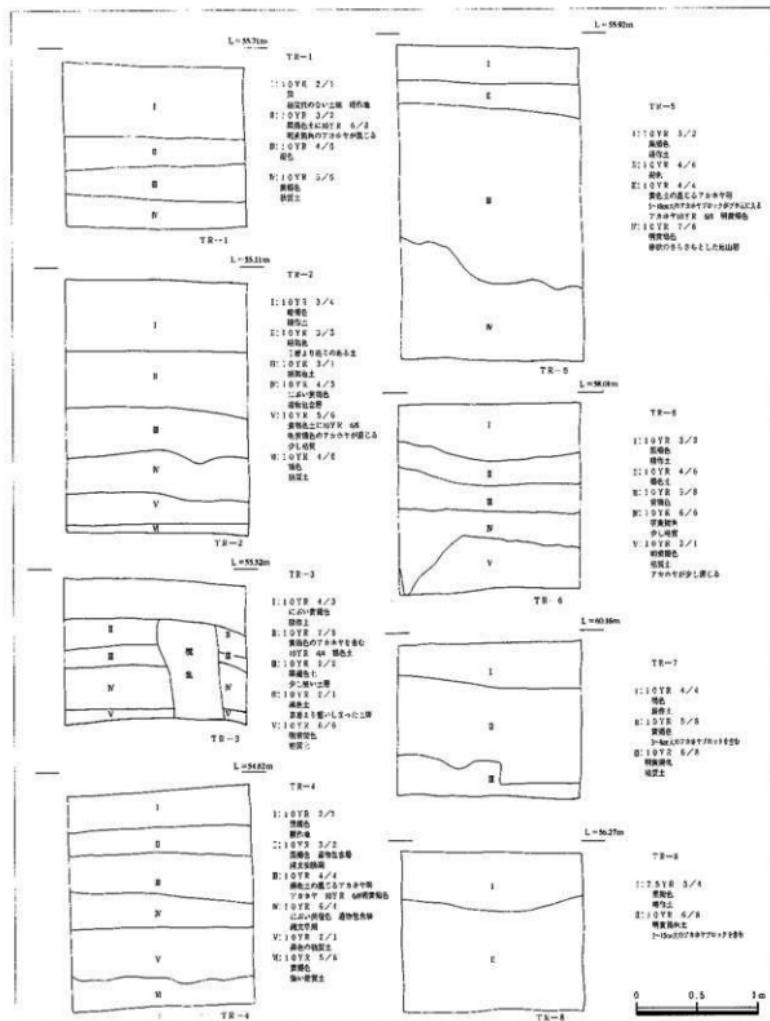
第 5 図

第4図

坂ノ上遺跡トレンチ位置図

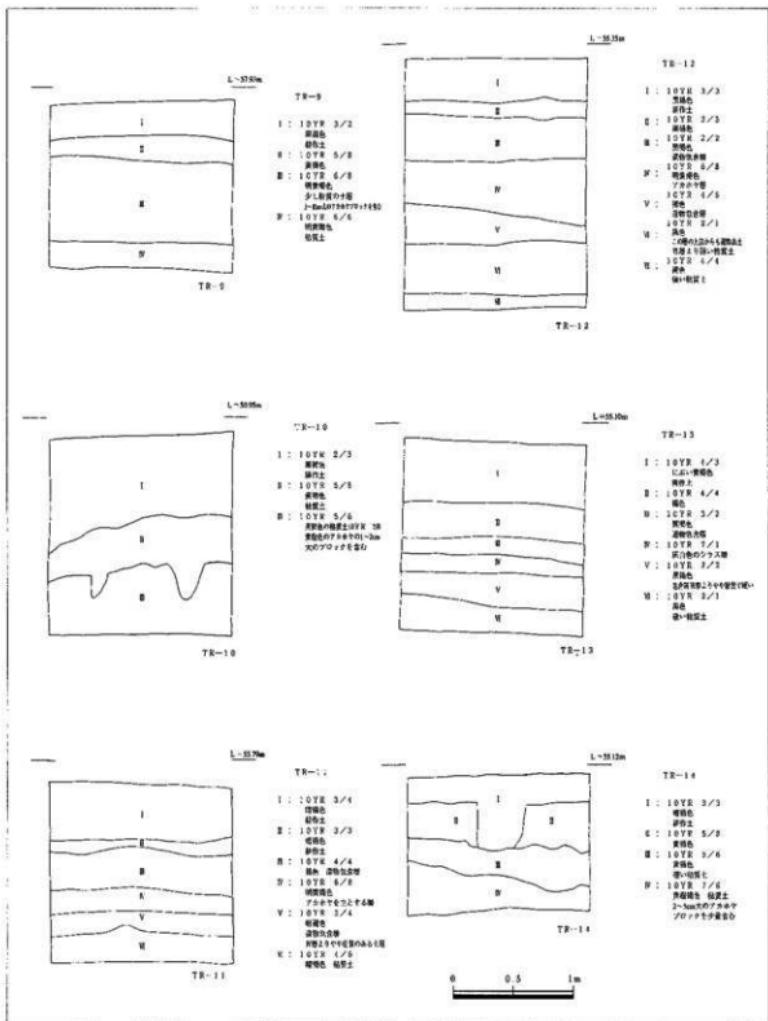


坂ノ上遺跡トレンチ土層断面図（その1）



第 6 図

坂ノ上遺跡トレンチ土層断面図（その2）



第 7 図

坂ノ上遺跡トレンチ土層断面（その1）

トレンチNO.1



トレンチNO.5



トレンチNO.2



トレンチNO.6



トレンチNO.3



トレンチNO.7



トレンチNO.4



トレンチNO.8



坂ノ上遺跡トレンチ土層断面（その2）

トレンチNO.9



トレンチNO.13



トレンチNO.10



トレンチNO.14



トレンチNO.11



トレンチNO.12



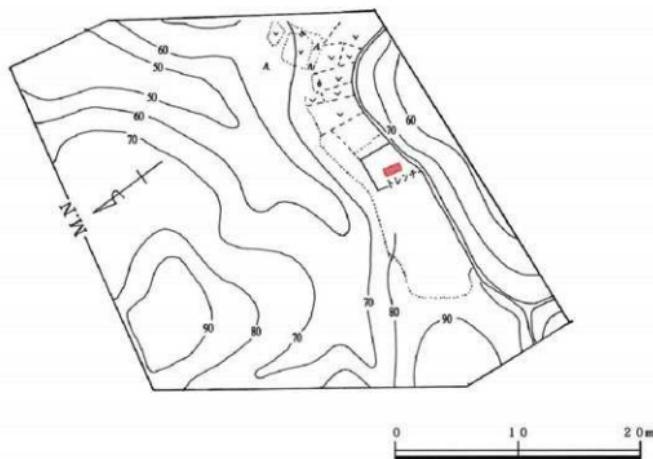
くべがみ
川辺ヶ野遺跡

川辺ヶ野遺跡 位置図



第 8 図

川辺ヶ野遺跡 トレンチ位置図



第 9 図

〔位置と環境〕

川辺ヶ野遺跡は、日南市大字吉野方字柑子ヶ谷11566番地に位置している。この遺跡の一部は、九州電力株式会社宮崎支店実施の送電線新設工事に伴い平成7年度に確認調査を実施した後、平成8年度に本調査も実施した。今回の確認調査は、送電線工事に関する索道基地設置に伴うもので、平成8年度に本調査を実施した位置に隣接していたため、遺跡の有無を確認するために実施した。

〔調査の経緯〕

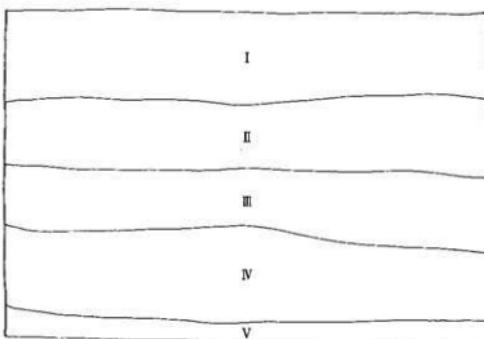
今回の調査は、送電線新設工事に関する索道基地設置に伴う埋蔵文化財の有無を確認するための調査である。調査対象地は、元は畠地として利用されていたようであるが、現在は休耕地となっていた。調査では、対象敷地内に1.5メートル×3.0メートルのトレンチを1ヶ所設定し、遺構・遺物の検出に努めた。

〔調査の結果〕

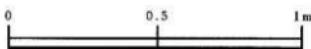
今回の調査の結果、遺構・遺物とも確認されなかった。

川辺ヶ野遺跡 土層断面図

L=75.23m



- I: 10 YR 5/6 にぶい黄褐色 楊作上
II: 10 YR 6/8 明黄褐色 アカホヤ層
III: 10 YR 2/2 黒褐色 黒い粘り質土
IV: 10 YR 4/4 細色 目層と同じくらいの粘質土
V: 10 YR 4/6 細色 5層中一番強い粘質土



第 10 図

調査区全景



図版 7

トレンチ 土層断面



図版 8

作業風景



図版 9

発掘作業員の方々



図版 10

NTT ドコモ携帯電話
無線基地局建設予定地

【位置と環境】

NTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地は、日南市大字風田字野中平3324番地に位置している。この基地局予定地は、標高約40メートルのゆるやかな傾斜地に一部広がる平坦地である。現在は、竹林となっている。東南方向には日向灘が一望でき、この方向に直線距離で約7キロの地点には、市指定史跡「孤塚古墳」やアカウミガメの産卵地である風田・平山海岸が存在する。

【調査の経緯】

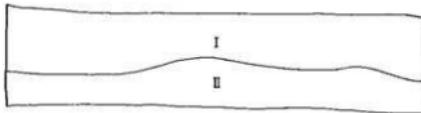
今回の調査は、携帯電話無線基地局建設に伴う埋蔵文化財の有無を確認するための調査である。調査対象地は、現在は竹林となっていたので、掘削が可能な場所を2ヵ所設定した。調査では、対象敷地内に1.5メートル×3.0メートルのトレンチを2ヶ所設定し、遺構・遺物の検出に努めた。

【調査の結果】

今回の調査の結果、遺構・遺物とも確認されなかった。

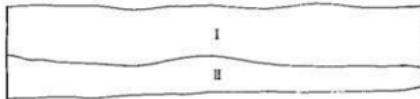
NTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地 土層断面図

L = 67.26m



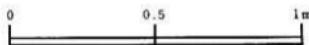
トレンチ No.1

L = 66.86m



トレンチ No.2

I : 10 YR 7/6 明黄褐色 竹根混じりの耕作土
II : 10 YR 5/6 黄褐色 砂混じりの岩盤層



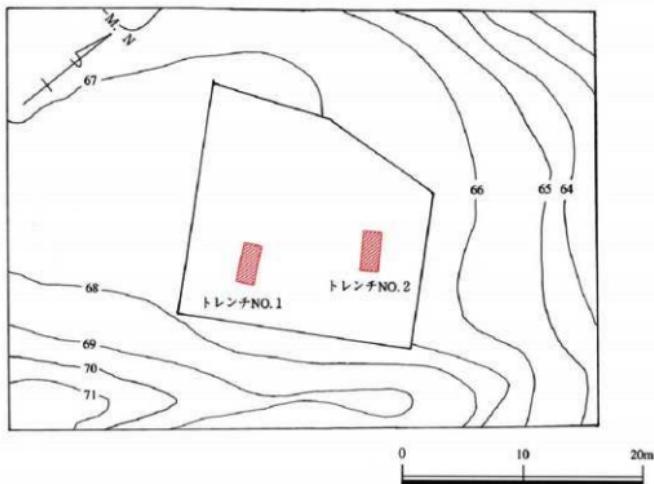
第 13 図

NTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地 位置図



第 11 図

NTTドコモ携帯電話無線基地局建設予定地 トレンチ位置図



第 12 図

トレンチ NO. 1 土層断面



図 版 11

トレンチ NO. 2 土層断面



図 版 12

作業風景



図版 13

整理作業にご協力いただいたみなさん



貴島 芳栄 谷口キヨ子

前田 智明

日南市埋蔵文化財調査報告書 第10集

平成10年度 日南市遺跡発掘調査概報

1999年3月

編集発行 日南市教育委員会

〒887-8585 日南市中央通1丁目1番地1

電話 0987-311145

印 刷 伊田中写真印刷

〒887-0031 日南市大字戸高441-1

電話 0987-225328